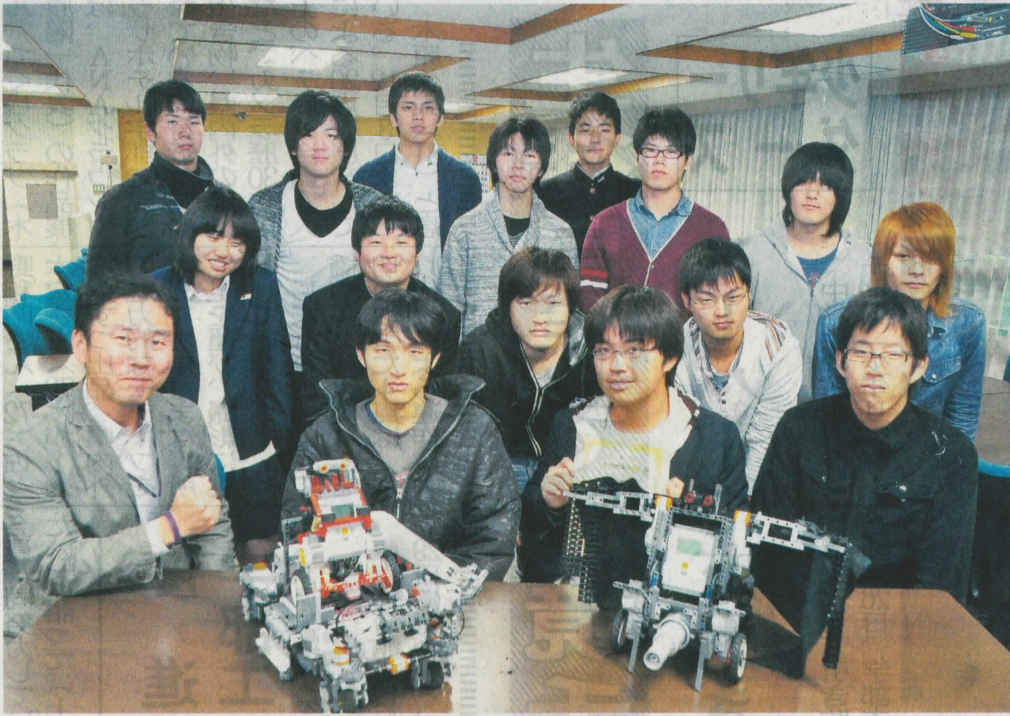


宇部高専がロボコン日本一



「すごい！」で全国優勝を果たした同好会のメンバー（宇部高専で）

走行ロボットを制御するプログラムの設計・開発技術を競い合う「ET（組み込み技術）ロボコン2013」の全国大会はこのほど、神奈川県横浜市であり、今年新たに設けられたパフォーマンス重視のアーキテクト部門で、中・四国地区代表として出場した宇部高専のETロボコン同好会が優勝。実践力が求められる「競技」だけに企業、大学チームが多数参加する中で「技術の宇部高専」を全国に印象付けた。

企業・大学に交じり技術示す

発想や驚き度、最多の「すごい！」獲得

工業製品などを制御するデベロッパ部門「すごいコンピュターソン」をキーワードに発想力や驚き度を審査するアーキテクト部門が新設された。宇部高専は昨年度、制御情報工学科の学生が卒業制作の一環で参加。2年連続で全国大会デベロッパ部門に出場も、好成績を挙げ、正確に走行させずにいた。今年は、

4月に同科の学生ら15人が立ち上げた同好会チームとしてエントリー。中・四国大会では「勇者が、魔王に誘拐された姫を取り戻す」ストーリーでチャレンジャー。演技には失敗し、可能性や将来性が高い評価を受けて地区代表の座を手にした。全国大会では、演技

の失敗を逆手に取り、ストーリーを「魔王に敗れた勇者が新しい武器（戦車）を入手して目的を達成」に変更。新たなプログラムとロボットが必要だったが、17人の同好会メンバーは「目指せ、全国制覇」を合言葉に、心を一つにして準備を進めた。本番では、難易度の高いロボットの合体など、地区予選で果たせなかったパフォーマンスを完遂。第一線の技術者ら審査員から最も多い「すごい！」を得て、栄誉を手にした。

顧問の田辺誠・制御情報工学科准教授は「学生たちの自由な発想が、頑張りによって確実なパフォーマンスにつながった結果。うれしい限り」と、メンバーと一緒に快挙を喜んでいた。（渡辺）

メンバーは次の通り。（敬称略）

幸諒真、鶴峯義久、喜村慈英、江藤祐慈、吉良竜二、近藤将成、永岡泰典、森岡佳祐、濱田聖人、森重丈、吉村蓮、長尾知昂、嶋田遼、柳井隆宏、濱田大貴、松山悦也、中尾真梨